



晩 秋

第 174 回 例 会 1962.11.13 (火) 晴 白夔社会員

菊地順雄氏絵

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)

事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

○卓 話 ニューヨークで見た
アメリカ文化の高度性について

福 岡 千 寿 郎 氏

○出席報告

本日の出席者 出席数 $\frac{30}{44}$ 名 欠席者 安藤君、阿部君、渡部君、金井(勝)君、手塚君、菅原君、鷺田君、斎藤(得)君、斎藤(栄)君、吉村君、岡崎君、板垣君、石井君、伊藤君

前回の修正出席率 81.82%
修正出席数 $\frac{36}{44}$ 名
修正出席率 86.36%

メ 廣瀬君(仙台北R.C)
ク ア ツ 鷺田君(東京北R.C)
ブ

○司 会 佐 藤 会 長

○ソ ン グ 手 につ ない で リ ー ダ ー 廣 瀬 君

ゲ ス ト

○ピ ジ タ ー 藻 寄 豊 久 君 (山 形 西 R.C)

村 田 与 治 兵 衛 君 (酒 田 R.C)

小 松 一 君 (ク ク)

○卓 話

ニュー York で 見た アメリカ 文化 の 高 度 性 に つ い て
福 岡 千 寿 郎 氏

私は昨年3月初めニューヨークに渡り本年1月末に帰国しました。ニューヨークに於ける私の仕事はシエトロ・ニューヨーク事務所に籍を置いて、ニューヨークに於ける日本産絹織物に対する批判を聞いたり、米国、欧州

産の絹織物の品質を調査し、日本で実施している輸出検査の有り方を研究することでありました。

従いまして最初にニューヨークに於ける日本産絹織物の輸出状況についてお話し申し上げ次いで、日常接する毎に感じましたアメリカ文化の高度性についてお話し申し上げ御参考に供したいと思ひます。

1. 最近に於ける、対米向日本産絹織物の輸出状況について

ニューヨークは私の口から今更申し上げる迄もなく米国に於ける商工業の中心地であります。ニューヨークには総ての貨物の輸入業者が100%近く集つておりますので、外国からの貨物はニューヨークに陸揚げされるか又は、他の地方に転送されています。

日本産絹織物も総てニューヨークに陸揚げされ、輸入商社からコンバーターという日本の卸問屋の如き業者に売られ、ここから最終消費者であるカッター又は小売商に販売されています。

アメリカでは年々既製服の売上高が増加しております換言すれば婦人が生地を買つて帰つて自分の家で仕立てて着るという事が、段々減少しつつあります。従つてカッターの縫製作業は年々伸長して全米絹織物消費量の85%をカッターが消費しており、残りの15%がデパート其の他で生地売りされています。

織物の品質面で問題が発生するのは従いましてカッターの段階で起ります。裁断し縫製して仕上つたドレスに穴があつたり、汚れがあつたり、其の他の織疵があつたりして問題が起ります。

日本産絹織物は現在日本で比較的優秀な製品を作ることの出来る機屋のものが米国並びに欧州等に輸出され

ております。ニューヨーク市場は日本の絹織物輸出にとって最も重要な市場であります。

御参考迄に昭和30年から昭和36年迄の対米向輸出実績を申し上げて見ますと次のとおりです。

年 代	全輸出数量		対米向輸出数量		全輸出数量に対する比率%
	万平方メートル	金額(億円)	万平方メートル	金額(億円)	
昭和30年	2,510	56	1,287	31	51
〳 31年	4,003	90	2,365	56	59
〳 32年	5,424	116	3,688	79	68
〳 33年	5,637	123	4,059	92	72
〳 34年	8,787	182	7,290	149	83
〳 35年	8,197	187	5,820	129	71
〳 36年	5,157	123	3,286	74	64

生糸21A年間平均価格

昭 30年	3,432円	34年	2,980円
31年	3,303円	35年	3,410円 (204,600)
32年	3,317円	36年	3,895円 (233,700)
33年	3,009円		
3,600円の場合の生糸 1 匁 = 13.5円			
5,000円の場合 1 匁 = 18.8円			

即ち昭和30年に於て対米向輸出実績は 1,287 万平方メートル (31億円) でありましたものが、昭和34年には 7,290 万平方メートル (149 億円) と昭和30年に比較しまして数量に於て 6 倍、金額に於て 4.8 倍と伸長し、全輸出数量の 83% がニューヨークに輸出されたのであります。昭和34年迄、逐年輸出数量が伸長しました原因は、生糸が 1 キロ当り 3,600 円 (1 俵 16 貫当り 216,000 円) 以下という非常に安い価格でしかも蚕糸糸価安定法によつて比較的激しい変動もなく安定していた為に伸びたのであります。昭和35年から糸価が高騰し始めました為に激少傾向を見せて参りまして、昭和36年中には 3,286 万平方メートルと対米向輸出実績は昭和34年中の半分以下に下落してしまいました。日本産絹織物は私の如き専門家の目で見ますと、欧米品に比較して非常に欠点が多い為に、市場が一旦悪化しますと品質上の問題が次々と起つて来ます。特に米沢、桐生の如きアウトウエアになります先染の絹織物は値段も高いものだけに問題が起る度も多い訳です。然し、当地で生産されますシャークレープとか或いは重目のシャンタンにつきましては他府県の製品より優秀でありますので問題も少なかつた事は幸いであります。

(次号に続く)

○連絡事項

○新しい会員が 5 名入会致しました。本日 5 名の方をお迎え出来た事は非常に悦ばしい事で、ロータリーという事については、情報委員の方より詳しくお聞きになつてもらいたい。

○武田君 1 年皆出席お目度う。

○インターシテイ・ゼネラル・フォーラムの登録料について、相当の経費がかかる関係上、会員全員参加下さる事を期待致しますが、出席出来ない方からも全員登録料を徴収したいと思います。

○石井貞吉君のお父さんが死亡致しました。謹んで哀悼の意を表します。

○東京インターシテイミーティング開催

国際ロータリー会長ラハリ氏来日の機会に 11 月 12 日東京都港区赤坂のホテル、オークラに於いて、在京クラブ主催の東京インター・シテイ・ミーティングを開催されました。当クラブより小花君、張君安藤君 3 人が出席されました。

会長が欠席の為、メッセージを国際委員長よりラハリ氏にたくされました。

○メッセージの条文

私は今年度に当クラブの会長に就任したことに光栄と幸福を感じております。なぜなら、貴下のメッセージに完全に共鳴したからであります。此の度のインターシテイミーティングには是非参加したいと存じておりましたが、やむを得ない都合で、出席出来なくなつたことを非常に残念に思つております。それで、当クラブ国際委員長張君に御挨拶を拝しました。どうぞ、今後共貴下におかれては益々、信念と勇気を持つて我々を御指導賜わらんことを切にお願い申し上げます。

○幹事報告

○会報到着 東京、本庄、花輪、青森東、新津 弘前東

○チャーター伝達式 横浜戸塚 R・C

期日 12 月 2 日 会場 横浜ホテルニューグランド
登録 13 時 45 分より

・私は新入会員です。

私はあなたに例会で会います。ですが、あなたはちつとも「やあ」とは云つてくれませんか。あなたはいつも知り合った人達と忙しそうにしています。当クラブの全会員は新入者を歓迎し、古参の人々に紹介してあるく特権をもつています。このことを忘れないで下さい。

○ニコニコ箱

武田君 1 年皆出席

○本日の献立

さしみ 鯛、焼物 鮭粕味噌漬、味噌汁 豆腐みつば